

「魚の国のしあわせ」プロジェクト実証 レジストレーションフォーム

企業・団体名	ミツイワ株式会社			
参加主体 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 生産者・生産者団体	<input type="checkbox"/> 卸売	<input type="checkbox"/> 小売	<input type="checkbox"/> 外食
	<input type="checkbox"/> メーカー	<input type="checkbox"/> 地方公共団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他(右に記入) 業務用Webサイト運	
実証項目 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 売り場提案	<input type="checkbox"/> イベント提案	<input type="checkbox"/> メニュー・商品提案	<input type="checkbox"/> 食育活動
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(右に記入)		水産物流通の活性化	
実証内容	テーマ	■産地とダイレクトに結ぶ水産物新流通システム		
	時期 (開始時期～終了時期)	2012年8月1日～2016年3月31日		
	取組内容	<p>【主旨:現在、様々なメディアで発信されている『魚離れ』の一因として、水産物の流通形態が問題視されていることがあります。当社では、Web技術を活用することによって、産地と消費地の間をダイレクトでつなげることにより、新しい流通形態を生み出し、魚の消費拡大に努めてまいりたいと考えております】</p> <p>■具体例として以下3点を述べます。</p> <p>①産地と消費地をダイレクトに結ぶことによるメリット【新鮮度のまま、既存流通と比較して早い流通日数】を生かし、地方で隠れているおいしい魚や魚料理を広く流通させ消費者にこれまで提供出来なかった魚や料理を提供することにより、魚食普及に貢献する。</p> <p>②既存流通ではなし得なかった未利用魚(規格外、少量、足が早い為産地でしか消費されていない魚、加工が難しいので利用されていない)や、産地で捨てられている魚たちに高い付加価値を付けることにより、消費者の目に留ませ魚食の拡大を促進する。</p> <p>③消費地での水産販売に係るプロフェッショナル(外食、小売りのバイヤー等)に全国の魚を知らしめ、新しい発想、発見による調理方法を開発させ、消費者の購買意欲を促進する。</p> <p>以上</p>		

企業・団体概要

会社・工場所在地	〒150-0002	東京都渋谷区渋谷3-12-18 渋谷南東急ビル	公表の可否	■OK
代表者氏名	代表取締役社長 羅 本 礼 二		公表の可否	■OK
従業員数	755名(2015年4月1日現在)		公表の可否	■OK
年間売上	413億円(単独)		公表の可否	■OK
ホームページ	<a href="http://www.mitsuiwa.co.jp/">http://www.mitsuiwa.co.jp/</a>		公表の可否	■OK
担当者	マーケティング本部事業研究室 IT水産グループ 本多 隆史		公表の可否	■OK
TEL	03-3407-2183		公表の可否	■OK
FAX	03-5467-1722		公表の可否	■OK
E:mail	<a href="mailto:mag00452@mitsuiwa.co.jp">mag00452@mitsuiwa.co.jp</a>		公表の可否	■OK